

「行事報告」

## 御船地域の巡検会

福本 祥大\* 平嶺 浩人\*

### はじめに

平成 23 年 5 月 7 日 (土) に御船地域の巡検会が行われた。今回の巡検会は 5 月 10 日の「地質の日」の企画として、初の一般参加者約 20 名を交えて行われた。今回は家族連れで参加いただいた方も多く、2 歳から 70 歳代と幅広い年齢層が特徴的だった。

8 時 30 分に熊本大学出発後、上益城郡甲佐町乙女橋の河原にて岩石採集及び観察を 2 時間程度行った。その後、昼食をはさみ御船町の化石広場にて化石採集を 1 時間 30 分程度行った。最後に、御船町恐竜博物館内にて 1 時間程度観覧を行った (図 1)。

### 巡検地解説

#### 1. stop 1 乙女橋

熊本市内から 40 分ほどで今回最初の目的地甲佐町乙女橋河原に着いた。ここでは様々な形や色の石を集めた。また参加者が思い思いに石を探す様子や、興味や疑問に思ったことについて、地学会員に熱心に質問をしている様子が見られた。その後に地学会員より、なぜこの場所でこんなにも



図 1 位置図.



図 2 乙女河原にて解説を聞く参加者.

多様な石が取れるのかという解説が岩永先生からあった (図 2)。

この場所では多様な種類の石をとることができ。黒いレンズの入った阿蘇-4 や阿蘇-1 の溶結凝灰岩を始めとして、堆積岩やチャート、石灰岩及び竹葉石や蛇紋岩や結晶片岩なども採集することができた。

#### 2. stop2 化石広場

吉無田高原で昼食をとり、30 分ほどで次の目的地である化石広場に到着した。

まず熊本大学教育学部地質研究室の田中先生より御船層群下部層の解説をしていただいた (図 3)。

この露頭では、不整合やスランプ褶曲がみられた。スランプ褶曲とは、未固結の堆積物がスランプングによって生じた褶曲状の構造である (図 4)。

化石採集を始めると参加者は夢中で化石を探していた。また化石を見つけた子ども達は周りの大人に「僕が見つけたんだよ」と、自慢気に見せて回る姿が印象的だった。

ここではミフネア、エオミオドン、テトリアなど、様々な貝化石が採集できた (図 5)。

\* 熊本大学教育学部  
2011 年 7 月 6 日受付, 2011 年 7 月 20 日受理



図3 露頭の解説を聞く参加者.

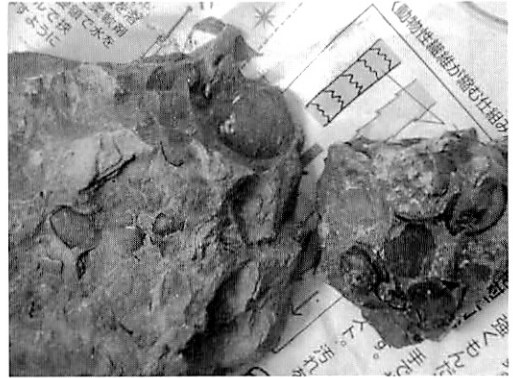


図5 化石広場で採集した貝化石.



図4 化石広場で見られるスランプ構造.



図6 哺乳類の化石の解説を聞く参加者.

### 3. stop3 御船町恐竜博物館

各々館内を回り興味のある展示品を熱心に観察していた。また一般参加者が分かりやすいように熊本地学会のメンバーが色々ところで展示物の解説を行った。また、当博物館の学芸員である池上先生から恐竜に関する興味深いお話を伺った(図6)。

さらに、この恐竜博物館には珍しい哺乳類の化石が展示してあった。この化石は大変小さい化石だが、しっかりと哺乳類共通の奥歯の形をしている。この化石から白亜紀の真獣類の一種であることが分かっている。

#### おわりに

今回の巡検会は、「地質の日」の企画として、一般の方が参加した巡検であった。今回行った河原の石の採集や、化石採取及び恐竜博物館見学は、

地域の自然に親しみ、理解するきっかけとなったと思われる。

最後に巡検会の企画運営をしていただいた馬場正弘先生や、丁寧な解説をしていただいた岩永恭一先生、田中均先生、池上直樹先生に深く感謝の意をここに表し、巡検会報告とする。

#### 発行所

熊本地学会誌 No.157

熊本市黒髪2丁目39-1 熊本大学教育学部

地学教室内 熊本地学会

TEL.096-342-2539 振替01960-5359